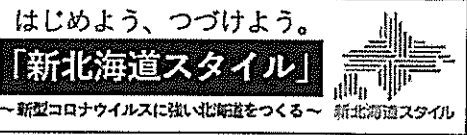


8/24(火) の発表



報道発表資料の配付日時

8/24(火)

15時00分

発表項目 (行事名)	溶血性尿毒症症候群（HUS）併発事例及び（週報）腸管出血性大腸菌感染症の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所) 月 日 () 時 分～	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆腸管出血性大腸菌感染症患者（HUS併発事例）の発生について 別紙1 紋別保健所</p> <p>◆週報（腸管出血性大腸菌感染症（3類感染症）の発生について） 別紙2 江別保健所、江差保健所、上川保健所、富良野保健所、稚内保健所、帯広保健所、釧路保健所</p>		
参考			

報道（取材） に当たっての お願い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	紋別保健所、江別保健所、江差保健所、上川保健所、富良野保健所、稚内保健所、帯広保健所、釧路保健所	

担当 (連絡先)	保健福祉部感染症対策局感染症対策課感染症対策係（担当：山下）		
	電話	(代表)	011-231-4111（内線25-506）
		(ダイヤルイン)	011-204-5253

腸管出血性大腸菌感染症の発生について 溶血性尿毒症症候群 (HUS) 併発事例

令和3年(2021年)8月24日(火)15:00
北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課
TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)
FAX: 011-232-3719

令和3年(2021年)8月23日(月)に、紋別保健所管内の女性(幼児)から、腸管出血性大腸菌O157(ベロ毒素産生性)、溶血性尿毒症症候群(HUS)の併発が確認されたのでお知らせします。

記

1 発生の概要

令和3年(2021年)8月20日(金)に、女性(幼児)1名が下痢、発熱、腹痛を呈し、同保健所管内の医療機関を受診し、入院、検査、治療を受けていたところ、溶血性尿毒症症候群(HUS)を併発したことが確認された。

2 経過

8月20日(金) 下痢、発熱、腹痛症状出現
A医療機関を受診し、入院・検査・治療の実施
23日(月) A医療機関より腸管出血性大腸菌感染症の患者発生届を受理
溶血性尿毒症症候群(HUS)を併発し、B医療機関へ転院、入院加療中。

3 感染経路

現在調査中

4 対応

- ・ 家族等の健康調査及び便検査
- ・ 患者及び家族等の喫食調査
- ・ 家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

5 その他

この件については、本日15時00分、紋別保健所においても資料配付を行っています。
報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。

腸管出血性大腸菌感染症とは

概要: ベロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。(無症状病原体保有者)

感染経路: 汚染された食品や、感染者の便が口に入ることで感染する。(経口感染)

分類: 感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間: 3～5日が多いが、1週間以上の場合もある。

予防策等: 手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

溶血性尿毒症症候群 (HUS) とは

概要: 腸管出血性大腸菌 (EHEC) が産生するベロ毒素が、腎臓の微小血管に障害を起こすことで、溶血性貧血、血小板減少、急性腎機能障害といった症状が現れる病態である。

その他、意識障害、痙攣、頭痛といった症状もみられる。

HUSはEHEC感染者の約1～10%に発症し、特に小児や高齢者が発症しやすい。

EHECに感染し、下痢あるいは発熱出現後4～10日に発症することが多い。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況 (2021年)

8月24日(火)時点

区分/O抗原型	1	8	15	25	26	28	55	91	103	111	115	124	125	126	128	145	157	不明	合計	
患者					20	1	1		2	2				1		1	41	5	74	
無症状病原体保有者		4	1		12	1		7	1		2	1	1	2				9	18	59
計		4	1		32	2	1	7	3	2	2	1	1	3		1	50	23	133	

(単位: 人)

*政令市(札幌市・函館市・小樽市・旭川市)及び本日発表分を含む。

*全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和3年（2021年）8月24日（火） 15:00

北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課

TEL: 011-231-4111（内線: 25-506）

FAX: 011-232-3719

令和3年（2021年）第33週（8月16日（月）～8月22日（日））に、道立保健所管内で腸管出血性大腸菌（ベロ毒素産生性）が発生したのでお知らせします。

記

1 発生の概要

番号	保健所	区分	性別等	発症日及び 主な症状	受診日	保健所 受理日	現在の状況	備考
1	江別	患者 (O157)	女性 (20歳代)	8月14日（土） 下痢、腹痛、 嘔吐	8月18日 (水)	8月20日 (金)	症状は快方に向かっている。	—
2	江差	無症状病原体保有者 (O26)	女性 (20歳代)	無症状	—	8月20日 (金)	無症状	—
3	上川	無症状病原体保有者 (O128)	女性 (30代)	無症状	—	8月17日 (火)	無症状	—
4	富良野	患者 (O157)	女性 (小学生)	8月11日（水） 腹痛、水様性 下痢	8月12日 (木)	8月17日 (火)	回復	—
5	稚内	無症状病原体保有者 (型不明)	男性 (70歳代)	無症状	—	8月19日 (木)	なし（無症状）	—
6	帯広	無症状病原体保有者 (O91)	男性 (20歳代)	無症状	—	8月16日 (月)	無症状	—
7	帯広	患者 (O157)	男性 (小学生)	8月12日（木） 腹痛、水様性 下痢	8月16日 (月)	8月18日 (水)	入院中であるが、症状は快方に向かっている。	—
8	帯広	患者 (O157)	女性 (幼児)	8月14日（土） 腹痛、水様性 下痢、血便、発熱	8月16日 (月)	8月18日 (水)	入院中であるが、症状は快方に向かっている。	—
9	帯広	患者 (O157)	女性 (幼児)	8月16日（月） 水様性下痢、血便、発熱	8月18日 (水)	8月19日 (木)	入院中であるが、症状は快方に向かっている。	—
10	帯広	患者 (O157)	男性 (幼児)	8月14日（土） 腹痛、水様性 下痢	8月19日 (木)	8月20日 (金)	入院中であるが、症状は快方に向かっている。	—
11	帯広	患者 (O157)	女性 (幼児)	8月14日（土） 水様性下痢、 嘔吐	8月16日 (月)	8月21日 (土)	症状は快方に向かっている。	—
12	帯広	無症状病原体保有者 (O157)	男性 (幼児)	無症状	—	8月21日 (土)	無症状	—
13	釧路	患者 (O157)	女性 (70歳代)	8月9日（月） 腹痛、血便	8月12日 (木)	8月16日 (月)	回復	14の家族
14	釧路	患者 (O157)	女性 (70歳代)	8月10日（火） 下痢、発熱、 腹痛、血便	8月14日 (土)	8月17日 (火)	回復	13の家族
15	釧路	患者 (O157)	女性 (小学生)	8月11日（水） 下痢、腹痛、 血便	8月13日 (金)	8月17日 (火)	症状は快方に向かっている。	—

2 対応

- ・家族等の健康調査及び便検査
- ・患者及び家族等の喫食調査
- ・家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

3 その他

この件については、本日15時00分、各保健所においても資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。